

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成22年度	平成23年度	平成24年度
活動指標	庁舎玄関側清掃	回	庁舎玄関側の清掃を週1回実施する。	目標	51	52	52
				実績	49	52	
成果指標	公用車定期点検	台	法廷点検1回/年 車検	目標			21
				実績			
	苦情回数	回		目標	0	0	0
				実績	0	0	
故障回数	回		目標	0	0	0	
			実績	0	0		

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

庁舎利用の安全性を確保するために適切な維持管理を行う。公用車の定期点検の実施。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

庁舎利用の安全性確保のため、被災した2階3階部分を立ち入り禁止とするとともに庁舎の維持に努めた。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

公用車の燃料費、庁舎の光熱水費の削減等を検討する。

■課題と対応方策

課題	千代田庁舎本館の耐震補強・大規模改修工事の早期発注
次年度における対応方策(改善方策)	仮庁舎からの移転に伴う庁舎本館工事の早期完了
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	今後の庁舎のあり方について、検討が必要となる

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	課長 石塚英幸 担当課名 検査管財課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input checked="" type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	庁舎の耐震補強及び大規模改修工事を実施し、千代田庁舎に機能回復と蛍光灯のLED化や空調の統一化を図り、節電や節減に努める。

二次評価【部長評価】	
部長名	小貫成一 担当部名 総務部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	早期の工事発注・完成に努めること。

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成22年度	平成23年度	平成24年度
活動指標	入札監視委員会の開催	回	年2回	目標	2	2	2
				実績	2	2	
成果指標	入札の透明性の確保			目標	無し	無し	無し
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検	
<input checked="" type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】 <input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="radio"/>	A:高い(義務)
<input type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
適正化法と品確法を基に透明性及び公正な競争を確保する。	
目標達成状況の点検	
<input checked="" type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input checked="" type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
入札監視委員会の提言等を基に入札制度検討委員会で協議をいただき改正した制度が機能し、談合情報等の減少にあらわれてきている。	
実施内容・方法の点検	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input checked="" type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】 <input type="checkbox"/>	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
談合情報の減少等、制度改正による透明性及び競争性が確保された。	

■課題と対応方策

課題	入札制度の改正
次年度における対応方策(改善方策)	入札制度検討委員会で検討
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	入札制度検討委員会で検討

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	課長 石塚英幸
担当課名	検査管財課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	さらなる透明性及び競争性の確保を図り、制度の適正執行に努める。

■二次評価【部長評価】

部長名	小貫成一	担当部名	総務部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		
担当課の評価通りである。			

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成22年度	平成23年度	平成24年度
活動指標	庁舎内巡回	回	庁舎内の安全点検及び環境状況の確認 1回/勤務日	目標	243	244	
				実績	243	244	
成果指標	指導回数	回		目標	0	0	
				実績	0	0	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

庁舎内環境の点検・整備を行い、庁舎利用者が安心して利用できるようにする。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

庁舎内の環境点検について、課全体で対応することができた。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

担当課のみでなく、各課での対応が必要となる。

■課題と対応方策

課題	今年度より、きめ細かな公共施設整備事業がなくなることから千代田庁舎等財産管理事業の中での対応が必要となる。
次年度における対応方策(改善方策)	千代田庁舎については、耐震補強改修工事が予定されていることから、出来るだけ反映させて対応する。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	庁舎内環境の定期的な点検・整備を実施する。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	課長 石塚英幸 担当課名 検査管財課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input checked="" type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	庁舎の耐震補強改修工事の際に、庁舎内の環境整備を合わせて行う。

二次評価【部長評価】

部長名	小貫成一	担当部名	総務部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		
	担当課の評価通りである。		

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成22年度	平成23年度	平成24年度
活動指標	移転作業の短縮		移転作業をスムーズに行う。	目標実績		無し	
				目標実績			
成果指標	行政サービス			目標実績		無し	
				目標実績			

■事務事業の点検

必要性の点検	
<input checked="" type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】□	
<input checked="" type="radio"/>	A:高い(義務)
<input type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
庁舎利用者の安全確保のため、被災を受けた庁舎内業務を移転し行政サービス行う。	
目標達成状況の点検	
<input checked="" type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input checked="" type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】□	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
移転作業については、最小限の期間で対応した。	
実施内容・方法の点検	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input checked="" type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】□	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
緊急性を重視し、決められた期間内での作業であった為、細やかな対応が出来なかった部分が	

■課題と対応方策

課題	現在の仮庁舎から、復旧が完了した千代田庁舎への移転。
次年度における対応方策(改善方策)	千代田庁舎の耐震補強改修工事完了に伴い、仮庁舎からの移転作業を行う。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	災害復旧については、行政機能が低下しないよう迅速にきめ細かな対応を行う。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	課長 石塚英幸
担当課名	検査管財課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input checked="" type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	千代田庁舎の耐震補強改修工事完了に伴い、仮庁舎からの移転をスムーズに行い行政機能が低下しないようにする。

■二次評価【部長評価】

部長名	小貫成一	担当部名	総務部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		
千代田庁舎の耐震補強改修工事を早期に完了させ、仮庁舎からの移転をスムーズに行い、行政機能が低下しないよう努める。			